

# 県立図書館事業

文化財・生涯学習課

## 1 事業目的

地方創生の新たな時代に対応し、情報・知識基盤社会における多様な県民の「知の拠点」としての役割を果たすため、県全体の図書館サービスの中核たる県立図書館としての機能を強化し、公共図書館及び学校図書館とともに様々な情報を活かした新しい図書館づくりを進め、「誰もが主体的に学ぶことができる環境づくり」を推進する。

### 使命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的普遍的な価値を支えるため、人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

## 2 事業内容

項目	内容	予算額
電子図書館運営事業	全ての県民が自由に「本」にアクセスできるよう、市町村との協働で電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を運営するとともに、県立長野図書館における専門・学術書の閲覧用電子書籍を充実する。	3,793万6千円
信州・知のポータル「信州ナレッジスクエア」の運用	県内の美術館、博物館、自治体等と連携し、信州に関する様々な情報資産やデジタルアーカイブをつなぎ、「“実感ある知”を獲得する学び」の総合的・横断的なポータルサイトとして充実・運用を図る。	2,518万3千円
所蔵資料デジタル化事業	大正から昭和初期に刊行された郷土資料のデジタル化を行い、著作権満了となったものをデジタルアーカイブのプラットフォーム「信州デジタルコモンズ」で公開することにより、地域の貴重な記録を誰もが広く活用できる環境を充実する。	277万2千円
学びの基盤づくりを通じた産業人材育成	共知・共創をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」を拠点とし、地域の多様な世代・主体がつながり、相互に学び合う機会としての「オープン版地域と未来をつなぐゼミ」を通じて将来の地域産業を支える人材の育成を図る。	60万6千円
県民の生涯にわたる「学び」を支援するための情報資源充実	信州のどこからでも、主体的な学びのもと誰もが等しく望む情報を手に入れ、新たな世界と出会い、自立的に未来を創る力を養うことができる環境を整えるために必要な資料・情報を収集・提供する。	3,939万8千円
管理運営費等	施設維持費、光熱水費等	1億477万1千円
	計	2億1,066万6千円

## 3 令和5年度予算額 2億1,066万6千円